

**定期検査報告書**  
(防火設備)  
(第一面)

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

特定行政庁  
四日市市長

報告者=管理者

年 月 日

提出時に受付で記入

検査者が2人以上の場合、代表となる検査者を記載。

報告者氏名

株式会社四日市ホテル  
代表取締役 諏訪 太郎

報告者、検査者ともに、押印は不要です。

検査者氏名

四日市 三郎

【1.所有者】

- 【イ.氏名のフリガナ】 カブシキガイシャ ヨッカイチホテル タイホウトリシマリヤク スワ タロウ
- 【ロ.氏名】 株式会社 四日市ホテル 代表取締役 諏訪 太郎
- 【ハ.郵便番号】 ○○○-○○○○
- 【ニ.住所】 ○○県○○市○○町○○○番地
- 【ホ.電話番号】 ○○○-○○○-○○○○

【2.管理者】

- 【イ.氏名のフリガナ】
- 【ロ.氏名】 所有者と同じ
- 【ハ.郵便番号】
- 【ニ.住所】
- 【ホ.電話番号】

所有者と同じ場合、このように記載しても構いません。

「管理者」とは、建築物に関して維持管理上の責任のある立場の者をいいます。  
  
(日常的な管理(清掃・保全会社との打合せ等)のみを行っている人ではない。)

【3.報告対象建築物】

- 【イ.所在地】 四日市市○○町○丁目○○
- 【ロ.名称のフリガナ】 ヨッカイチホテル
- 【ハ.名称】 四日市ホテル
- 【ニ.用途】 ホテル、物販店舗

住居表示で記入

【4.検査による指摘の概要】

要是正の指摘あり (  既存不適格 )       指摘なし

要是正のみが一つでもあれば、チェックしない。

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
年 月 日	<p>※受付欄は、1面が追加され2枚に渡っても、報告書の1枚目に配置してください。</p>	
第 号		
係員氏名		

(第二面)

建築設備の状況等

【1.建築物の概要】(定期検査報告対象建築物)

【イ.階数】 地上 9 階 地下 1 階  
【ロ.建築面積】 600.00 m<sup>2</sup>  
【ハ.延べ面積】 4,445.00 m<sup>2</sup>

【2.確認済証交付年月日等】

【イ.確認済証交付年月日】 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 第 HO確認建築四日市市○○○○○ 号  
【ロ.確認済証交付者】  建築主事  指定確認検査機関 ( )  
【ハ.検査済証交付年月日】 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 第 HO確認建築四日市市○○○○○ 号  
【ニ.検査済証交付者】  建築主事  指定確認検査機関 ( )

直前の確認申請・検査済証関係の情報を記入。

【3.検査日等】

【イ.今回の検査】 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 実施  
【ロ.前回の検査】  実施 ( 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 )  未実施  対象外  
【ハ.前回の検査に関する書類の写し】  有  無

今回検査が終了した年月日を記入。この日から3ヶ月以内に報告書を提出。

【4.防火設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ.資格】 ( 一級 ) 建築士 ( 大臣 ) 登録 第 123456 号  
防火設備検査員 第 号

直前の実施日(報告日でも可)を記入。

【ロ.氏名のフリガナ】 ヨッカイチ サブロー

【ハ.氏名】 四日市 三郎

【ニ.勤務先】 ○○建築設計事務所  
( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録 第 号

FAX番号を併記。

【ホ.郵便番号】 510-○○○○

【ヘ.所在地】 四日市市○○町○○○番地

【ト.電話番号】 059-○○○-○○○○ (FAX 059-○○○-○○○○)

防火設備検査員の場合、資格者証の写しの添付が必要です。

(その他の検査者)

【イ.資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録 第 B12345678 号  
防火設備検査員 第 号

検査員が1人の場合は記入不要。3人以上の場合は、欄を追加又は別紙に記載。(資格を持たない検査補助員については記載不要です。)

【ロ.氏名のフリガナ】 ミエ シロウ

【ハ.氏名】 三重 四郎

【ニ.勤務先】 △△建築調査センター  
( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録 第 号

【ホ.郵便番号】 510-△△△△

【ヘ.所在地】 四日市市△△町△△△番地

【ト.電話番号】 059-△△△-△△△△

【5.防火設備の概要】

【イ.避難安全検証法等の適用】

区画避難安全検証法 ( 階 )  階避難安全検証法 ( 階 )  
 全館避難安全検証法  その他 ( )

【ロ.防火設備】

防火扉 ( ○○ 枚 )  防火シャッター ( ○○ 枚 )  
 耐火クロススクリーン ( 枚 )  ドレンチャー ( 台 )  
 その他 ( 台 )

両開き・親子扉の防火扉は、セットで1枚と数えてください。

【6.防火設備の検査の状況】

【イ.指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし

【ロ.指摘の概要】 防火扉(扉、枠及び金物)  
防火シャッター(煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器)

【ハ.改善予定の有無】  有 ( 令和 ○ 年 ○ 月 に改善予定 )  無

要是正のみが一つでもあれば、チェックしない。

【7.防火設備の不具合の発生状況】

【イ.不具合】  有  無

【ロ.不具合記録】  有  無

【ハ.改善の状況】  実施済  改善予定 ( 年 月 に改善予定 )  予定なし

指摘の概要は、「該当する防火設備の種類」+「該当する検査項目」のように記載してください。

【8.備考】

前回調査時以降に把握した不具合だけを記入。

(第三面)

防火設備に係る不具合の状況

不具合等を把握した年月	不具合等の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

検査結果表の要是正の指摘は、不具合に含まない。